

いしかわ まちづくり View

No. 56

目次

■特集	金沢城公園「鼠多門・鼠多門橋」の復元整備について	・・・1
■	あのまち、このまち“まちづくりめぐり”	
	本多の森公園 国立工芸館移転に伴う再整備の完成	・・・4
	金沢駅西広場周辺歩行環境整備事業の完成	・・・5
	のと九十九湾観光交流センター	
	「イカの駅つくモール」の完成	・・・6
■	センターだより	・・・8

特集

金沢城公園「鼠多門・鼠多門橋」の復元整備について

1 はじめに

金沢城公園では、平成8年に金沢大学跡地を取得し、公園整備が始められ、これ以降の10年間で第一期整備と位置付け、都心部に残された貴重な緑を保全しながら、江戸時代後期の城郭の地割りを基に、史実を尊重した整備を進めてきました。第一期整備では、菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓等の復元整備を行うとともに、園路・広場・修景植栽など公園としての基盤を整え、平成13年の全国都市緑化フェア開催に合わせ開園しました。

平成17年度からは一期と同様10年間で計画期間とする第二期整備に着手し、前半の5年間で河北門といもり堀、後半の5年間で北陸新幹線の金沢開業に合わせ、橋爪門と玉泉院丸庭園の整備を行いました。



2 事業概要

北陸新幹線の金沢開業とともに、二期20年にわたる金沢城公園の整備は大きな節目を迎えましたが、史跡としての価値と魅力の更なる向上を図るため、平成27年12月に「第三期整備計画」を策定し、これに基づく整備に取り組んでいます。

計画の中心となる事業が「鼠多門・鼠多門橋」の復元整備であり、このほど完成しましたので、その概要を紹介します。

鼠多門は、金沢城の西側の郭^{くわ}である玉泉院丸に位置し、木橋（鼠多門橋）により接続される金谷出丸（かつて城の一部であった現在の尾山神社境内）からの出入口として機能していました。

石垣の間に設けられた大扉の上に櫓が作られた櫓門形式の城門で、幅は約22m、奥行きは約7mあり、創建年次は明らかになっていませんが、江戸時代前期には既に存在していたことが絵図等から判明しています。1884（明治17）年に焼失するまで長年にわたって利用されてきました。

大きな特徴は海鼠壁の目地の色です。海鼠壁とは、壁に貼った平瓦の目地に、漆喰をかまぼこ型に盛り上げて塗った壁のことであり、通常は白い漆喰を使いますが、鼠多門では現存する全国の城郭建築では例のない黒漆喰を用いて仕上げられています。

平成26年から実施した埋蔵文化財調査や絵図・文献調査の結果に基づき、史実に沿った木造軸組工法による復元工事が行われました。

鼠多門橋は、城内最大規模の木橋だったと言われ、老朽化によって1877（明治10）年に撤去されるまで、何度も架け替えられながら利用されてきました。

今回整備した鼠多門橋は、長さ約33m、幅約5.5mで、鋼構造とすることで、現在の安全基準等を満たしながら、城郭景観との調和を図るため鋼材を木材で覆う仕上げとしております。橋下部は遺構を保護するため杭基礎とせず、基礎コンクリート盤と橋脚・床版を一体的に剛結する構造とすることで耐震性を確保しています。



▲ 鼠多門内部



▲ 鼠多門・鼠多門橋

3 加賀百万石回遊ルート

鼠多門・鼠多門橋は城の外周部に位置しているため、今回の復元整備により、新たな城郭景観が創出されるとともに、長町武家屋敷跡から尾山神社、金沢城公園、兼六園、本多の森公園が結ばれ、「加賀百万石回遊ルート」が形成されました。ルート沿いには、尾山神社神門や三十間長屋、石川門などの国指定重要文化財のほか、長町武家屋敷跡に点在する武家の庭や藩主の庭である兼六園、玉泉院丸庭園といった数多くの庭園があり、本県の質の高い文化の魅力をまち歩きをして楽しむことができます。

4 ライトアップによる夜間の魅力の創出

また、昼だけでなく、夜間の魅力も創出するため、門と橋をライトアップし、加えて、金沢城公園の建造物などのライトアップや園路照明の拡充を行い、夜の城の魅力の向上を図っています。より多くの方に楽しんでいただけるように、昨年度までは、週末に限定していた城内の夜間開園を、門と橋の供用を機に本年は11月下旬まで毎日実施しています。

県では今後も、金沢城の復元整備を通じた魅力向上や情報発信の取り組みを進めてまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



▲ 鼠多門・鼠多門橋ライトアップ



▲ 鶴丸倉庫ライトアップ

【問合わせ先】

石川県土木部公園緑地課

TEL : 076-225-1772

E-mail : e251800a@pref.ishikawa.lg.jp



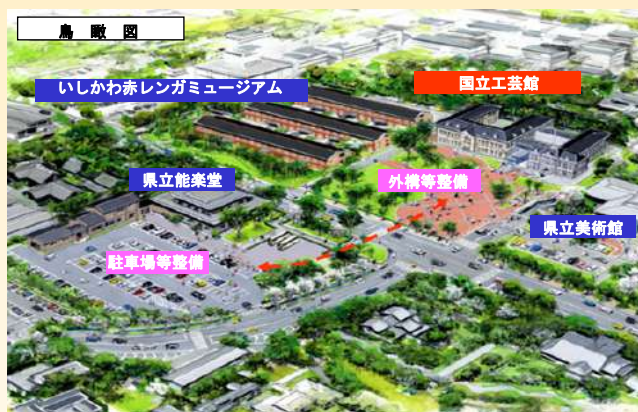
▲ 鼠多門・鼠多門橋ライトアップ

本多の森公園 国立工芸館移転に伴う再整備の完成

1 はじめに

本多の森公園一帯は、特別名勝兼六園を中心とした「兼六園周辺文化の森」に位置づけられ、園内には、県立歴史博物館等の歴史的建造物や県立美術館等の文化施設を多数有し、兼六園、金沢城に連なる豊かな緑が各施設を取り巻くように形成された公園です。

国立工芸館は、国の地方創生施策である政府関係機関の地方移転の一環として、平成 28 年 3 月の「政府関係機関移転基本方針」に、本県への移転が盛り込まれ、工芸館施設については、「旧陸軍第九師団司令部庁舎」と「旧陸軍金沢偕行社」を移転し、活用することとなり、工芸館の建築工事が進められてきました。



▲本多の森公園 鳥瞰図



▲文化施設共用駐車場

○工芸館周辺の再整備

工芸館周辺の公園整備については、既存のレンガ広場との景観の調和を図り、工芸館前面については、レンガ敷きの園路広場として整備し、本多の森公園の中心的なシンボルゾーンとなるよう、整備を進めました。



▲工芸館周辺の再整備

2 事業概要

○文化施設共用駐車場の整備

「旧陸軍第九師団司令部庁舎」と「旧陸軍金沢偕行社」の跡地については、現状の駐車場不足に加え、工芸館整備に伴い利用者の増加が見込まれることから、各文化施設間の連携強化、公園の回遊性、利便性、景観の向上による利用促進や賑わいの創出を図ることを目的とし、公園利用者のための駐車場の整備と、工芸館と既存施設、駐車場間の新たな動線や周辺景観に配慮した緑地の整備を行いました。

公園面積：7.4ha（0.3ha の増）

事業期間：平成 30 年度～令和元年度

駐車台数：141 台→258 台

3 おわりに

日本海側初の国立美術館となる国立工芸館は、10 月 25 日の開館に向けて現在、準備が着々と進んでおります。本多の森公園を含む兼六園周辺文化の森には、工芸館も含め、藩政期から現代に至るまでの様々な時代の歴史文化施設が重層的に存在しております。今回の再整備により、各文化施設間の連携が益々強化され、公園全体の賑わいの創出に大きく寄与できるものと期待しています。

【問合わせ先】

石川県土木部公園緑地課

TEL：076-225-1772

E-mail：e251800a@pref.ishikawa.lg.jp

金沢駅西広場周辺歩行環境整備事業の完成

1 はじめに

金沢ではこの度、駅西副都心の中心拠点であり、公共交通の結節点である金沢駅西広場に隣接する道路において、歩行環境を整備することで、更なる賑わい創出や交流人口の増加を図りました。

当該道路は、朝夕を中心に多くの車が送迎のために通行しており、特に通勤時間帯は車と歩行者が集中し、混雑する状況が見受けられていたことから、金沢駅西広場周辺の市道230メートルを歩行者専用道路としてリニューアルし、安心して歩くことができる環境を整えました。

また、一般車駐車場に新たに増設した降車場から雨や雪に濡れずに駅へと移動できるよう、屋根付き通路「シェルター」と、円すい形状の大屋根「キャノピー」を設けました。

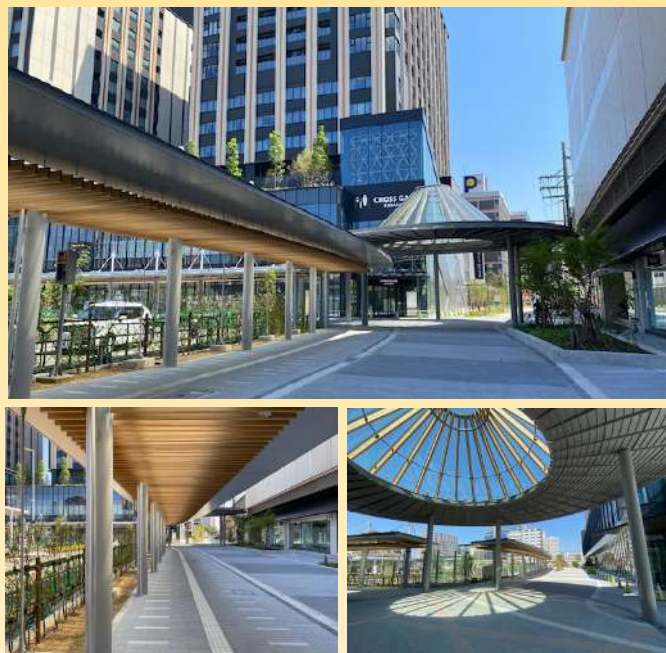
整備にあたっては、既存の広場との調和に配慮しながら、随所に植栽スペースや照明を配置したほか、シェルター天井部には木製の板を連続的に配し、温かみのある空間を演出するなど、金沢の玄関口として相応しい質の高い空間に仕上がっています。



▲位置図

2 経緯

平成29年度	実施設計
平成30年度	工事着工
令和2年6月	完成、供用開始



▲新しく整備された歩行空間

3 整備概要

- ・道路修景整備 L=230m
(排水工、修景舗装、ベンチ、照明、植栽、消融雪設備)
- ・シェルター L=130m
(W=5.3m、H=5.4m、L=56m)
(W=5.0m、H=5.4m、L=74m)
- ・キャノピー N=1基
(直径17.6m、H=9.1m)

4 おわりに

事業完成後、沿線の商業施設が次々とオープンし、注目を浴びています。

この道路が駅利用者の利便性向上や安全安心に寄与することはもちろん、賑わいの拠点として活力と魅力にあふれた金沢の新たな顔になることを期待しています。

【問合わせ先】

金沢市都市整備局都市計画課

TEL : 076-220-2353

E-mail : tokei@city.kanazawa.lg.jp

のと九十九湾観光交流センター「イカの駅つくモール」の完成

1 はじめに

能登町小木地区は、能登半島内浦に位置し、日本百景に選ばれた風光明媚で穏やかな九十九湾を有しています。平成25年5月にみなとオアシスに登録されている小木港は、特にイカ漁において日本有数の水揚げを誇り、加工品の開発も進んでいます。このイカ漁をはじめとする漁業文化を紹介するとともに、イカの食文化の発信や地元産品の販売、観光遊覧船の運航、ダイビング等のマリンレジャー体験ができる観光交流拠点として、九十九湾に『のと九十九湾観光交流センター「イカの駅つくモール」』を整備しました。



▲外観



▲内観

2 事業概要

【事業名】小木地区都市再生整備計画事業

【所在地】能登町字越坂18字18番地1

【建物概要】木造平屋建て

敷地面積 約9,900 m²

建築面積 1,324.68 m²

延床面積 933.20 m²

【事業費】約5億2千万円

【施設コンセプト】

外観は、漁港の倉庫や市場など、単純で細長い建物が海に横たわるイメージとし、能登半島国立公園に配慮した自然な仕上げとなっており、内観は全体に窓を大きく取り入れて、九十九湾が見渡せる明るい空間としました。

3 施設概要

【観光交流センター】

- ・観光案内所（遊覧船チケット売場）
- ・地元産品直売所
- ・イカ漁展示コーナー
- ・レストラン（44席）
- ・24hトイレ（授乳室あり）



▲地元産品直売所



▲イカ漁展示コーナー



▲観光遊覧船（イカす丸）

【マリンレジャー施設】

- ・更衣室、ミーティングルーム、カヤック艇庫、スキューバタンク充填庫



▲シーカヤック



▲サップ

【駐車場】

- ・大型 2 台、普通 80 台、バリアフリー 3 台

【開館時間】

- ・ 10 時～17 時
- ・ 休館日 毎週水曜日

【指定管理者】株式会社こっしやえる

4 経緯

- ・ 平成 28 年 6 月～平成 29 年 2 月 計画
- ・ 平成 29 年 9 月～平成 30 年 3 月 実施設計
- ・ 平成 30 年 9 月～令和 2 年 1 月 建設工事
- ・ 令和 2 年 6 月 20 日 開館

5 おわりに

施設の愛称であります「イカの駅つくモール」には、町内外からより多くの人が気軽に立ち寄ってもらえる場所になってほしいという思いが込められています。この施設が「イカのまち小木」を発信する拠点となり、交流人口の更なる拡大と、九十九湾を核とした当地域の賑わいの創出につながり、訪れる方に愛され親しまれ続ける施設となることを期待しています。

【問い合わせ先】

能登町建設水道課

TEL : 0768-62-8523

E-mail : kensetsusuidou@town.noto.lg.jp

センターだより

『いしかわまちづくり技術センター』では、まちづくりに関する様々な活動をサポートしています。ここでは、サポート内容についてご紹介します。

まちづくりの啓発や普及をサポート

○街並み・まちづくりシンポジウム

まちづくりに関する「意識の高揚」、「普及と参画促進」、「きっかけづくり」などを目的に、最新のまちづくりに関する話題や課題等をテーマとしたシンポジウムを開催しています。

今年度は、10月に白山市での開催を予定しています。是非ご参加ください。

<白山市まちづくりシンポジウム in 白峰>

◆日時：10月17日（土）13:30～

◆場所：白峰コミュニティホール
（白山市白峰ハ149）

◆テーマ：「この地域に住み続けるための
まちづくり」



▲ 街並み・まちづくりシンポジウム



○まちづくり専門家の派遣

住民団体や協議会が実施する、まちづくりに関する講習会や勉強会にまちづくりの専門家（アドバイザー）を派遣し、まちづくり活動を支援しています。当センターでは、専門家の旅費・謝金を助成しています。



▲ まちづくり専門家の派遣



住民主体のまちづくり活動をサポート

○いしかわこどもの未来創造まちづくり事業

将来の地域のリーダーとなる子どもたちと共に
行うまちづくり活動（まちづくり学習）を支援して
います。今年度は、7件の活動に助成します。

○我（和）がまちづくり（いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業）
“元気な住民と元気なまち”をつくりだすための
まちづくり活動を支援しています。今年度は、6件
の活動に助成します。



▲ いしかわこどもの未来創造
まちづくり事業



▲ 我（和）がまちづくり（いしかわ
地域の魅力創造まちづくり事業）

○まちづくりリーダー研修会

活動支援を行った団体の報告会を行います。地域
で頑張る皆様の生の声が聞け、他の活動から学べる
ことが沢山あります。来年2月に開催する予定です
ので、是非ご参加ください。



▲ まちづくりリーダー研修会



まちセンくん



まちづくりに関する様々な
情報を発信しています。



編集後記

今回は、金沢城公園「鼠多門・鼠多門橋」の復元整備について特集しました。鼠多門・鼠多門橋の整備により新たな城下町巡りが楽しめるようになりました。金沢が誇る観光名所を歩き、歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

当センターでは、皆さまのまちづくり活動を支援するとともに、まちづくりに関する情報発信に努めています。是非、お気軽にお問い合わせください。

編集協力：石川県（公園緑地課）、金沢市、能登町
発行：公益財団法人 いしかわまちづくり技術センター
TEL：076-239-1616 FAX：076-239-1606
HP：<http://www.machisen.jp/>
発行日：令和2年9月